

2025 年 8 月 14 日

各 位

会 社 名 B B D イニシアティブ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 グループ CEO 稲葉雄一
(コード番号 5259 東証グロース)
問 合 せ 先 取締役 グループ CFO 佐藤幸恵
(TEL 03-5405-8120)

株式会社ヘッドウォータースとの資本業務提携、 並びに主要株主である筆頭株主及びその他の関係会社の異動に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、株式会社ヘッドウォータース（コード番号：4011 東証グロース、本社：東京都新宿区、代表取締役：篠田 庸介、以下、「ヘッドウォータース」）と資本業務提携契約（以下、「本資本業務提携」）を締結することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、本件により当社の「主要株主である筆頭株主」及び「その他の関係会社」の異動が見込まれますので、併せてお知らせいたします。

記

I. 資本業務提携の目的・概要

1. 資本業務提携の背景及び目的

当社グループは「ありがとうを X-Tech（クロステック）する」を経営理念に、「DigitalInclusion（デジタルインクルージョン）～テクノロジーを通じて、世界中の人々が参加し、平等に利益を受ける機会を提供することで社会に希望を与える～」をビジョンに掲げ、企業の人手不足をデジタルトランスフォーメーション（DX）で補うべく、営業活動の自動化を中心とした業務の自動化・自律化を SaaS・AI で支援しております。

当社グループの主要顧客である中小中堅企業は、人手不足を補う為、業務の効率化や顧客サービスの向上を目指し、DX化を加速させてきている中、データ分析や自動化・自律化のツールとして非常に有用な AI を活用することで、大量のデータから有益なインサイトを抽出し、ビジネス戦略の策定、営業活動の最適化が求められています。そのような中、次世代型 KnowledgeSuite（ナレッジスイート）をはじめ、新サービスの開発及び AI 実装を現在進めておりますが、より高付加価値なサービス開発において高度な AI スキルを持つ人材の確保と AI 技術活用が喫緊の課題でした。

一方、ヘッドウォータースは、人工知能（AI）トランスフォーメーションやマルチ AI プラットフォーム「SyncLect」をはじめとする AI ソリューション、DX コンサルティング、クラウド基盤構築支援などを手掛ける企業です。特に Microsoft 社の Data & AI 領域において国内 No. 1 の実装力を持ち、Microsoft Japan Partner of the Year 2024「AI イノベーション パートナー オブ ザ イヤー アワード」を受賞するなど、高い技術力と豊富な実績を有しています。また、自社開発の高精度な AI エージェントやワークフロー自動化技術（正答率 99%）にも強みを持っています。これまでヘッドウォータースは主に大企業向けに高度な AI 導入を支援してきましたが、中小企業向け SaaS プロダクトの導入社数拡大には課題があり、より広範な企業群にリーチできる販路を求めています。

この両社の強み（当社グループの豊富な中小企業顧客基盤とヘッドウォータースの高度 AI 実装力）と課題（当社グループのサービス高付加価値化ニーズとヘッドウォータースの販路拡大ニーズ）を相互に補完することで、「人と AI が共創する、次世代の働き方を日本から」という共通のビジョンを実現すべく、

本資本業務提携に至りました。

今回の資本業務提携は、「X-Tech AI 強化」を掲げ、AI の民主化とデータドリブン経営を推進することで、日本が抱える労働人口減少や人手不足といった産業課題の解決を目的とするものです。AI の民主化が切り開く、日本の生産性革命を実現するために、ヘッドウォータースは、当社グループが進める「営業活動の自動化・自律化 (AI)」「単純作業の自動化・自律化 (AI)」「業務管理の自動化・自律化 (AI)」をより強力に推進します。

2. 資本業務提携の内容等

(1) 業務提携の内容

以下の4つの協業シナジーを創出し、両社の事業成長と社会への貢献を目指します。AI の民主化が切り開く、日本の生産性革命を実現するために、当社が進める「営業活動の自律化」「単純作業の自律化」「業務管理の自律化」をヘッドウォータースの支援のもと、日本の産業課題である労働人口の低下、人手不足を多くのサービスを通じて解消いただくことが可能になります。

① 当社サービスの「自律型 AI」による高付加価値化

当社グループの既存 SaaS プロダクトや人材サービスにヘッドウォータースの AI 要素をアドオンすることで、サービスの利便性・効率性を向上させ、さらなる AI の民主化を加速します。これにより SaaS サービスの高付加価値化を実現し、顧客単価 (ARPA) 向上を行います。ヘッドウォータースは、当社グループが保有する多くの SaaS サービスに自律化を促す AI 実装を行います。

② 技術とデータの相互活用

当社グループが保有する営業活動情報や企業データなど膨大なアクションデータを AI の学習用教師データとして活用し、ヘッドウォータースと共同で業務特化 AI や業種特化テンプレートを開発します。さらに、当社グループが提供するクラウド型営業支援ツール「Knowledge Suite」の利用者に対して自律化された新機能・新サービスを提供し、AI 導入効果を現場で実感いただきます。

③ 顧客基盤の拡大と多様な業種への対応

当社グループの幅広い中小企業顧客基盤にヘッドウォータースのプロダクトを展開し、プロダクト導入社数を拡大します。また、ヘッドウォータースの大手法人顧客に対して当社グループの SES (システムエンジニアリングサービス) を提案・提供することで、互いの顧客基盤を相互に拡大・多様化します。

④ 運用効率の向上と市場の先取り

AI 駆動型の開発手法を導入し、AI プロダクトを効率的に開発・提供することで開発コストの抑制とスピード向上を図るとともに、AI 開発人材の育成にも取り組みます。さらに、大手企業で培った最先端ニーズの知見を中小企業向けの廉価版ソリューションとして共同開発・展開し、市場ニーズを先取りしたサービスを提供します。

(2) 資本提携の概要

ヘッドウォータースは、当社株主である清原 達郎 氏 (以下、「清原氏」) が保有する当社の普通株式の合計 1,599,100 株 (2025 年 3 月 31 日現在の発行済株式総数株 6,120,221 株に対する所有割合 26.14%) を 2025 年 8 月 29 日に清原氏より譲り受ける予定です。また、当社とヘッドウォータースは、本株式譲渡により、本資本業務提携契約を締結いたします。

3. 資本業務提携の相手先の概要

(1) 名 称	株式会社ヘッドウォータース（東京証券取引所グロース市場上場）		
(2) 所 在 地	東京都新宿区西新宿 6-5-1 新宿アイランドタワー 4 階		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 篠田 庸介		
(4) 事 業 内 容	・AI ソリューションサービス ・デジタルトランスフォーメーションサービス ・プロダクトサービス		
(5) 資 本 金	382,875 千円		
(6) 設 立 年 月 日	2005 年 11 月 1 日		
(7) 大株主及び持株比率	篠田 庸介 水谷 量材 株式会社日本カストディ銀行 山崎 哲靖 畠山 奨二 BC ホールディングス株式会社 今 秀信 NOMURA INTERNATIONAL PLC A/C JAPAN FLOW （常任代理人 野村證券株式会社） 株式会社 ROBOT PAYMENT 疋田 正人		46.99% 2.94% 2.50% 1.01% 0.94% 0.86% 0.85% 0.84% 0.84% 0.58%
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません	
	人的関係	該当事項はありません	
	取引関係	該当事項はありません	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません	
(9) 当該会社の最近 3 年間の連結経営成績及び連結財政状態			
決算期（連結）	2022 年 12 月期 （第 18 期）	2023 年 12 月期 （第 19 期）	2024 年 12 月期 （第 20 期）
連 結 純 資 産	875 百万円	961 百万円	1,272 百万円
連 結 総 資 産	1,169 百万円	1,294 百万円	1,800 百万円
1 株 当 たり 連 結 純 資 産	233.78 円	254.73 円	333.73 円
連 結 売 上 高	1,574 百万円	2,315 百万円	2,905 百万円
連 結 営 業 利 益	110 百万円	94 百万円	307 百万円
連 結 経 常 利 益	106 百万円	98 百万円	362 百万円
親会社株主に帰属する連結当期純利益	75 百万円	70 百万円	272 百万円
1 株 当 たり 連 結 当 期 純 利 益	20.07 円	18.85 円	72.01 円
1 株 当 たり 配 当 金	0.00 円	0.00 円	0.00 円

4. 日程

(1) 取締役会決議日	2025 年 8 月 14 日
(2) 契約締結日	2025 年 8 月 14 日
(3) 株式譲渡実行日	2025 年 8 月 29 日

5. 企業・株主間のガバナンスに関する合意又は株主保有株式の処分若しくは買増し等に関する合意の内容及び目的
該当事項はありません。

II. 「主要株主である筆頭株主」及び「その他の関係会社」の異動

1. 異動が生じる経緯

本株式譲渡が完了した場合、清原氏は当社の「主要株主である筆頭株主」に該当しないこととなります。

一方、ヘッドウォータースは、本株式譲渡により譲渡人である清原氏から 1,599,100 株（議決権所有割合（注）26.14%）の当社普通株式を取得することで、当社の「主要株主である筆頭株主」及び「その他の関係会社」に該当することとなる見込みです。

（注）議決権所有割合の詳細につきましては、下記「3. 異動前後における当該株主の所有する議決権の数（所有株式数）及び総株主の議決権の数に対する割合」に記載の注記をご参照ください。

2. 異動する株主の概要

（1）新たに「主要株主である筆頭株主」及び「その他の関係会社」となる株主の概要

新たに当社の「主要株主である筆頭株主」及び「その他の関係会社」となることが見込まれるヘッドウォータースの概要は、上記「I. 資本業務提携の目的・概要」の「3. 資本業務提携の相手先の概要」をご参照ください。

（2）「主要株主である筆頭株主」に該当しないこととなる株主の概要

（1）名	称	清原 達郎
（2）所	在 地	東京都港区

3. 異動前後における当該株主の所有する議決権の数（所有株式数）及び総株主の議決権の数に対する割合

（1）ヘッドウォータース

	属性	議決権の数（議決権所有割合）※			大株主順位
		直接所有分	合算対象分	合計	
異動前 (2025年3月31日現在)	—	—	—	—	—
異動後	主要株主である筆頭株主 及びその他の関係会社	15,991個 (26.14%)	—	15,991個 (26.14%)	第1位

（2）清原氏

	属性	議決権の数（議決権所有割合）※			大株主順位
		直接所有分	合算対象分	合計	
異動前 (2025年3月31日現在)	主要株主である筆頭株主	15,991個 (26.14%)	—	15,991個 (26.14%)	第1位
異動後	—	—	—	—	—

- (注) 1. 2025 年 3 月 31 日現在の発行済株式総数 6,120,221 株
内、議決権を有しない株式として発行済株式総数から控除した株式数 3,921 株
発行済株式総数から議決権を有しない株式を控除した株式数 6,116,300 株
2. 総株主の議決権の数に対する割合は、小数点以下第 3 位を四捨五入しております。

4. 異動予定年月日

2025 年 8 月 29 日

5. 開示対象となる非上場の親会社等の変更の有無

該当事項はありません。

III. 今後の見通し

本件に伴う当社の業績に与える影響につきましては現在精査を行っており、公表すべき事項が生じた場合は、速やかにお知らせいたします。

以上

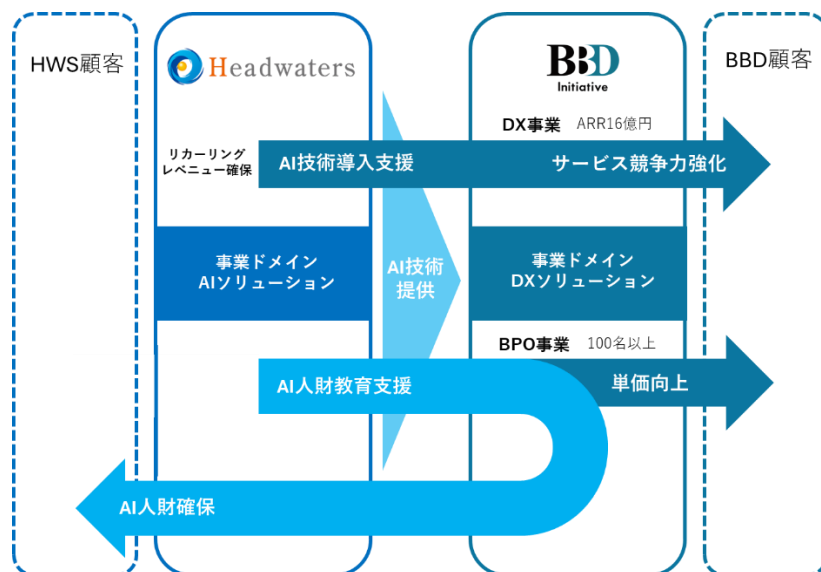
AI の民主化×データドリブン経営で、日本の産業に再起動を

～AI 民主化を進めるヘッドウォーターズ、データドリブンを進めるBBDイニシアティブと資本業務提携契約を締結～

X-Tech（クロステック）プラットフォームを通じて持続可能な社会を目指すことを目的に、デジタルトランスフォーメーションを推進する B B D イニシアティブ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 グループ CEO 稲葉 雄一、東証グロス上場：証券コード 5259、以下「BBDI」）は、AI ソリューションを通じて AI の民主化を進める株式会社ヘッドウォーターズ（本社：東京都新宿区、代表取締役 篠田 庸介、東京グロス上場：証券コード 4011、以下「ヘッドウォーターズ」）と資本業務提携契約を締結したことを発表いたします。

現在、B B D イニシアティブグループでは『次世代型 KnowledgeSuite（ナレッジスイート）』をはじめ、新サービスの開発及び AI 実装を進めております。

中堅・中小企業が、人手不足を補うために業務の効率化や顧客サービスの向上を目指し、DX 化を加速させてきている時代の流れの中で、AI はデータ分析や自動化・自律化のツールとして非常に有用であり、AI を活用することで大量のデータから有益なインサイトを抽出し、ビジネス戦略の策定、営業活動の最適化が可能になります。特に IT 業界では、高度な AI スキルを持つ人材の確保が難しくなっており、多くの AI ソリューションの導入実績を持つヘッドウォーターズとの資本業務提携により、AI 実装においてスムーズで効果的な実装が可能となります。



AI の民主化を進めることで日本の生産性革命を実現するために、ヘッドウォーターズは、BBDI が進める「営業活動の自動化・自律化 (AI)」「単純作業の自動化・自律化 (AI)」「業務管理の自動化・自律化 (AI)」をより強力に推進します。

具体的には、BBDI が保有・蓄積している多くの営業活動情報や企業情報等の膨大なアクションデータを学習用教師データとして活用し、SFA/CRM 統合ビジネスアプリケーション『KnowledgeSuite（ナレッジスイート）』の利用者に、自律化された新機能や新サービスを利用いただくことが可能になります。

また、BBDI が提供する多くのサービスに対する自律化に向けた AI 実装支援だけでなく、両社で多くの AI サービスを開発して行くことで、日本の産業課題である、労働人口の低下や人手不足を多くのサービスを通じて解消していくことが可能になります。

これらの取り組みにより、ヘッドウォータースは、AI の知識をよりユーザーに身近な AI サービスとして実装の場を広げ、利用者の声をサービスに置き換え、より実践的な PDCA サイクルを回しながら、日本で最大級のサービス実装の場を確保することが可能になります。

また、BBDI は、ヘッドウォータースが得意とする多くの AI 実装経験を武器に、全サービスに AI 機能を実装させることで、ユーザーの利便性だけでなく、AI の民主化そして当社グループが進めるデータの民主化を武器に、まずは両社で日本から生産性革命を実現してまいります。

資本業務提携による互いの効果として、BBDI では、開発するサービスの競争力が強化され、ヘッドウォータースでは、順次 AI 実装が完了したサービスからリカーリングレベニューシェアによるサブスクリプション売上を得ることで合意しております。なお、全てのサービスへの AI 実装完了は1年を目途に開発を進めていく予定です。

今後もBBDIイニシアティブグループは、積極的にAIへの取り組みを加速させ、自動化・自律化の取り組みを検証してまいります。

また、新しい価値ある働き方改革を実現させ、中堅・中小企業のDX化を推進するリーディングカンパニーを目指してまいります。

本 社： 東京都港区愛宕二丁目5番1号
愛宕グリーンヒルズMORIタワー38階
設 立： 2023年4月3日
代 表 者： 代表取締役社長 グループCEO 稲葉 雄一
U R L： <https://bbdi.co.jp/>

【本リリース/取材等に関するお問合せ】

T E L：03-5405-8120
F A X：03-5405-8119
E - M a i l：press@bbdi.co.jp
広報IR担当 山崎

※本プレスリリースに記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。